

No. 22-48 JSME ジュニア会友 機械の日企画

「親子見学会 ～身近なエネルギーについて学び、将来を考えよう～」

部門企画委員会 村川英樹（神戸大）、白木正浩（東京ガス）、町田栄治（日本原電）、
宮田学（デンソー）、小池上一（IHI）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学，エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2022年8月4日（木）に、「身近なエネルギーについて学び、将来を考えよう」をテーマに夏休み親子見学会を開催しました。一昨年度は中止、昨年度はオンラインでのイベント開催でした。面着での開催は2年ぶりとなり、本年は東京都江東区のガスの科学館「がすてな〜に」を訪問しました。当日は、あいにくの雨模様でジュニア会友の小・中学生6名と保護者の方々4名の合計10名にご参加いただきました。

「気球ひろば」に集合後、「エナジースタジオ」に移動すると、そこで私たちの生活を支えるエネルギーや炎のこと、防災への備えなどについて対話形式で楽しく学びました。天然ガスを運びやすくするため600分の1の体積に液化することを大きなゴムボールとスーパーボールの対比で見たり、天然ガスの採掘には富士山よりも深く掘る必要があることなどを聞いたり、子供たちはイメージを膨らませていました。また、各家庭にはガスのマイコンメーターが取り付けられており、大きな地震が起きたときには安全のために自動的にガスが止まる仕組みに安心していました。しかし、その復旧方法は知らない人が多く、地震のあとにはガス会社の方々が復旧のために奔走されると聞いて、復旧方法を学んだ子供たちは、「家に帰ったら復旧ボタンの場所を見ようね」などと保護者の方とお話されていました。そのあとは、体験のできる展示を自由に見学しました。エネルギーバランスを考えるブースでは天秤の両方に各々のエネルギーの特徴を理解しながら、さまざまなエネルギーの重しを載せていました。燃料電池やガス冷房原理モデルの展示では水の流れなどをたどり、液化天然ガス（LNG）を貯蔵する地下タンク内部のしわ（熱膨張を吸収する）を見て、「何のために必要なの」などと質問していました。最後に「クイズホール」に移動して、4択のクイズに挑戦し、学んだ成果を確認して見学を無事に終了しました。

参加していただいた子供たちには、見学会を題材にした自由研究作品の応募をお願いしました。優秀作品は、日本機械学会ジュニア会ホームページ等で紹介する予定ですので、是非ご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりました東京ガスネットワーク株式会社 ガスの科学館「がすてな〜に」の方々に感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様に感謝いたします。



「がすてな〜に」での見学の様子



参加者の皆さん